

# 第5回 介護・医療連携推進会議 議事録

日時	令和5年 4月 25日 発送
場所	コロナ対策の為書面会議にて施行
参加者	利用者様 3名 地域民生委員 1名 地域包括支援センター小倉1 1名 外部評価:某施設 管理者 1名
検討議題	①サービス提供実績 ②事故報告 ③活動内容報告 ④自己評価*別紙参照 ⑤外部評価*別紙参照 ⑥ご意見・まとめ

## ①サービス提供実績（令和4年4月～令和5年3月）

	R4.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5.1月	2月	3月
利用者数(人)	42	42	44	44	45	43	41	40	39	39	41	42
内訳 要介護1	12	11	11	12	12	11	10	9	9	9	11	11
要介護2	5	4	3	3	4	5	6	7	7	7	6	6
要介護3	9	9	9	8	8	7	6	7	7	7	7	9
要介護4	11	13	14	13	12	12	13	11	10	10	11	9
要介護5	5	5	7	8	9	8	6	6	6	6	6	7
定期巡回 月間訪問件数(件)	4765	5270	5000	5405	5632	4968	4932	4981	5146	5290	4836	5584
内訳 介護士	3402	3897	3764	3998	4232	3665	3596	3665	3789	3812	3560	4125
看護師	1363	1373	1236	1407	1400	1303	1336	1316	1357	1478	1276	1459
随時対応 訪問件数(件)	66	50	34	73	65	47	37	214	55	48	103	40
内訳 介護士	45	28	26	30	33	36	30	136	36	19	85	30
看護師	21	22	8	43	32	11	7	78	19	29	18	10
利用者一人当たりの 平均月間訪問回数 (件)	115.1	131.4	113.6	122.8	125.2	115.5	120.3	124.5	131.9	135.6	118.0	133.0
内訳 介護士	82.1	98.2	85.5	90.9	94.0	85.2	87.7	91.6	97.2	97.7	86.8	98.2
看護師	33	33.2	28.1	32.0	31.1	30.3	32.6	32.9	34.8	37.9	31.1	34.7

## ②事故報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
転倒	0件	1件	2件	2件	1件	1件	0件	3件	2件	0件	4件	0件
怪我(表皮剥離)	0件	0件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	1件

## <対策>

### 1.転倒について

1年間の転倒件数は16件発生。内、ベッドサイドでの転倒が10件とトイレ内が5件、廊下が1件である。

いずれもスタッフの訪問中ではなく、居室内で生活している中で転倒されスタッフが発見に至っている。軽度の打撲のみが12件、骨折(入院)が4件となっている。

ご家族・ケアマネージャーや北九州市への報告も適宜行っている。

- 対策・・・①居室内に手すりの設置(福祉用具)を検討  
②居室内の環境整備  
③離床センサーやフットセンサーの利用を検討・導入  
④ベッドサイドへの打撲防止のクッションや滑り止めを敷く。

上記の対策を行い転倒防止に努めている。在宅医へ報告を行い転倒から24時間は転倒に伴う症状出現に注意して観察を行っている。

### 2.怪我について

訪室時にシーツに血液の付着があり、ボディーチェックにて皮膚剥離を発見する。いずれも発生時の詳細は不明であり、ベッド柵にぶつけたのか、自身で搔かれて発生した可能性が大きい。

- 対策・・・①皮膚が脆弱な方の場合、保護用のアームバンドを使用する。  
②ベッド柵のカバーを作成し設置した。  
③スライディングボードやスライディングシートを利用して皮膚摩擦をできるだけ避ける。  
④利用者様の爪切り、手指の保清をしっかりと行う。

### ③活動状況

#### \* 消防訓練

- ① 令和5年3月29日(水)  
参加人数:職員 16名 入居者:42名  
2階リネン庫より出火想定で実施

#### \* 研修参加

##### 介護職員

コロナウィルス感染症のためスタッフ全員が外部のオンライン研修を1~2回/年参加している。その他、施設内研修として下記5項目の研修を実施。

- ①食中毒について  
②虐待防止 (2回)  
③身体拘束について  
④感染対策について  
⑤災害時や感染時の業務継続計画について

今後もオンライン研修への参加を進めていく。

##### 看護職員

コロナウィルス感染症のためスタッフ全員が外部のオンライン研修を1回/年参加している。また、看護職員内でも上記①~⑤の施設内研修を実施。

\* 安全衛生委員会（訪問看護師・介護士・デイサービス職員・施設長で構成 おおむね毎月1回実施）

- ・感染症対策マニュアルの見直し
- ・新型コロナウイルスへの対応、最新情報の収集
- ・ミトン・センサー実施中の方の評価を実施
- ・事故報告書の振り返り、再発予防策の検討
- ・BCPの見直し

\* 面会について

現状コロナウイルス感染症の感染拡大はなく感染者数や重症例の減少に伴い解除時期について検討中。R5.5/8に5類への引き下げがあるため含めて検討する。理美容や訪問歯科は再開になっており、徐々に緩和の方向である。完全解除になるまでは、デイサービス利用時にガラス越しでタブレットを利用した面会を継続していく。

④自己評価 別紙参照

⑤外部評価 別紙参照

⑥ご意見・まとめ

(1)巡回ステーションつむぎ 自己評価についてのご意見

- ・熱心な仕事ぶりがうかがえる。介護に置いて「これで満足」ということはない中で出来る限り努力されていると思う。
- ・ほぼ出来ている状態であり素晴らしいと思う。
- ・利用者の状況に合わせて多職種間で連携できていると思う。
- ・今後地域への情報発信や課題提起につなげてほしい。
- ・良くしてもらっている。全部してもらっているから安心。
- ・細かいことはよくわからない。

(2)サービス提供実績・事故・活動状況 報告についてのご意見

- ・事故報告について細やかに対応している。事前の対策が重要。
- ・看護師の訪問件数が多いところは重症者が多かったと推測し医療的視点でよく観察されていると思う。
- ・必要な活動が行われており面会については家族と施設が納得できる形で緩和に向けられたらいいと思う。
- ・利用者様が安心できるよう取り組めているため、今後も継続してほしい。
- ・避難訓練が怖かった。
  - ・よく勉強している

(3)その他のご意見等

- ・今後も感染予防に努めてほしい。
- ・最後まで尊厳は重んじられる事が重要であるので今後もサービス向上に努めて継続してほしい。
- ・出かけたりしたい。